

様式2

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

学校名 静岡県裾野市立向田小学校

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	【水泳教室】 3年生 13人 4年生 19人 5年生 32人 6年生 16人 【オリ・パラ図書コーナー、オリ・パラ写真コーナー】 全校児童 120人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 体育 ） 行事名（水泳教室：高桑選手と水泳を楽しもう） ② その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	- 日本のトップスイマーである高桑選手から水泳の指導を受けることで、子どもたちが水泳に対する興味・関心を高めると共に、今後の自分の目標設定に生かすことができる。 - 日本のトップスイマーである高桑選手から水泳の指導を受けることで、水泳だけでなくスポーツ全体への興味・関心を高めると共に、2020年に開催される「東京オリンピック」への興味・関心を高めることにもつなげる。 - 高桑選手との交流から、スポーツに情熱を注ぐことの素晴らしさや、目標に向かって努力することの素晴らしさを感じ取る。 - 書籍や掲示物（写真等）を見ることによって、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心を高め、2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」をより身近なものとして感じることができる。
5 取組内容	1 水泳教室（高桑選手による水泳指導） (1) 3・4年生への水泳指導 第2校時（9：25～10：10） - 高桑選手の紹介 - 模範泳法 - 水慣れ・泳法指導 - 記念撮影  



(2) 5・6年生への水泳指導 第3校時(10:30~11:15)

- ・高桑選手の紹介
- ・模範泳法
- ・水慣れ・泳法指導
- ・記念撮影



※1・2年生は、時間の許す範囲内で、水泳教室の様子を見学。

2 高桑選手へのインタビュー(11:40~12:00)

(1) PTA広報部による高桑選手へのインタビュー



3 高桑選手との会食

(1) 6年生との会食 給食(12:10~12:55)

- ・配膳
- ・会食(水泳に関する話等をしながら)
- ・高桑選手への質問&感想



4 高桑選手との交流会 13:10~13:30

(1) 高桑選手と児童との交流会（会議室）

- ・児童からの質問に、高桑選手に答えていただく。
- ・握手会
- ・サイン会



5 オリ・パラ図書コーナー、オリ・パラ写真コーナー

- ・オリンピック・パラリンピックに関連した書籍を集めたコーナーを設置する。
- ・オリンピック・パラリンピックに関連した掲示物（写真等）を作成して掲示する。



6 主な成果

- ・日本を代表する高桑選手の泳ぎを実際に目の前で見たり、高桑選手から直接水泳指導を受けたりすることで、子どもたちは水泳に対する興味・関心を高めるとともに、2020年に開催される「東京オリンピック」への興味・関心も高めることもできた。
- ・子どもたちは、水泳教室の活動をととして、水泳の魅力を十分に感じることもできた。
- ・水泳教室及び、会食会・交流会の活動をととして、子どもたちは、スポーツに限らず自分の得意なこと（好きなこと）に、情熱や力を注ぐことの素晴らしさとその価値について考える機会を得ることができた。
- ・オリ・パラの図書・写真コーナーを設けたことにより、普段の学校生活の中で、子どもたちがオリンピック・パラリンピックをより身近に感じるようになることができた。

7実践において工夫した点（事業の特色）

- ・できる限り多くの子どもたちが水泳指導を受けることができるように、ブロック学年（3・4年、5・6年）による水泳教室の開催とした。
- ・1・2年生は、水泳指導を直接受ける機会を設けなかったが、水泳教室の活動を見学することをととして、高桑選手の素晴らしさと水泳の魅力を感じることができるように配慮した。
- ・キャリア教育の一環として、高桑選手が6年生と一緒に給食を食べる時間を設けた。高桑選手の話の聞いたり、6年生が高桑選手に質問したりする活動をととして、6年生の子どもたちは、自分の将来を思い描く貴重な時間となった。
- ・交流会では、日本を代表する高桑選手を子どもたちが身近に感じるように、子どもたちが直接質問する時間や、握手をしたり、サインを書いてもらったりする時間を設けた。
- ・図書・写真コーナーは、子どもたちが休み時間等に自由に見ることができるように、図書室横のオープンスペースに設けた。

8主な課題等	• 今回は水泳教室の時間を45分間で計画したが、指導内容と照らし合わせると、時間がやや少ない形になってしまった。実技の時間を60分間確保し、余裕をもった計画で進めることができると良かった。
9来年度以降の実施予定	• 高桑選手との日程調整がうまくできるのであれば、次年度以降も継続し、水泳（スポーツ）の楽しさ・魅力を、子どもたちに伝えていきたい。 • パラリンピックに関係した講師をお招きして講演会を実施することも検討したい。 • 書籍や掲示物については、計画的に充実を図る。